おやこであそぼう
～　絵本と、わらべうたの時間　～

2015年 10月21日

☆絵本・紙芝居

いちじく にんじん福音館書店）
作：大阪YWCA千里子ども図書室／絵：ごんもりなつこ

やさい（福音館書店）作・絵：平山和子

ころころじゃっぽーん～紙芝居～（童心社）作・絵：長野ヒデ子

☆わらべた・童謡

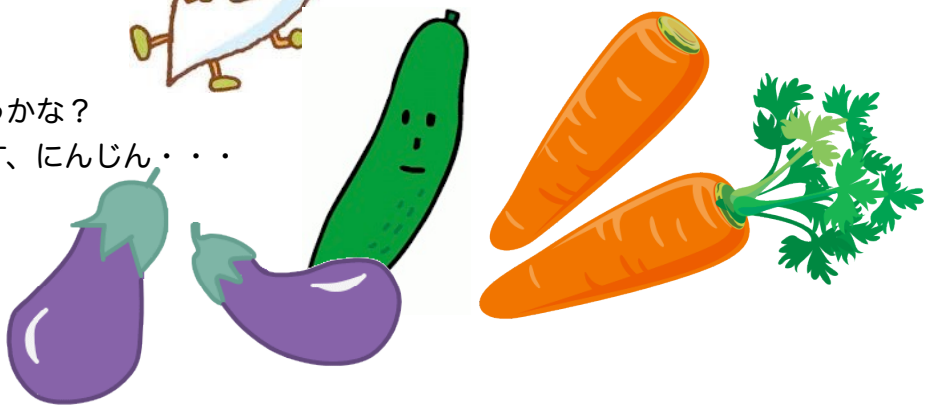
♫だいこんづけ

だいこんづけ　だいこんづけ
うらがえし
だいこんづけ　だいこんづけ
おもてがえし

次は何を漬けようかな？
きゅうり、なす、にんじん・・・

♫おすわりやす

おすわりやす　いすどっせ
あんまりのったら　こけまっせ



♫虫のこえ

1　あれ　まつむしが　ないている
チンチロチンチロチンチロリン
あれ　すずむしも　なきだして
リンリンリンリンリーンリン
秋のよながをなきとおす
ああ　おもしろい　虫のこえ

2　キリキリキリキリ　こおろぎや
ガチャガチャガチャガチャ　くつわむし
あとからうまおい　おいついて
チョンチョンチョンチョンスイッチョン
秋のよながをなきとおす
ああ　おもしろい　虫のこえ

☆こころとからだのおはなし（９月のお話　新約聖書「ルカによる福音書　５章」）

再び、小さな海！

シスター勝の見せてくれた１枚の海の絵を見ながら、すっかり遠くなった夏の思い出に、もう一度、浸りました。

そこに、現れたのは、沢山のお魚でした。海の中には、様々な種類の魚たちが泳いでいます。海は、魚にとっての住まい。人と同じように、一定の場所を住み家とする魚もいれば、海流に乗って、大海を泳ぎ回る魚もいます。その数は、計り知ることのできないものに違いありません。

ところが、いくら漁師さんが網をおろしても、釣り糸を垂れても、全く釣れない日も多いのです。そんな漁師の一人にペトロがいました。「夜通し働いても何も獲れなかった」ペトロでしたが、イエスの話を聴いた後、イエスの言葉に従って網を降ろすと、舟が沈みそうになるほど、魚が網にかかったと書かれています。こうして漁師だったペトロは、イエスの最初の弟子となり、イエスとともに、神の言葉を伝えるための漁に出ます。

シスター勝が、小さな網を子どもたちに渡すと、子どもたちは、夢中になって、それぞれの網に魚をいっぱいに入れようとしました。「もっと、他にいないの？」と、力を惜しむ事なく、夢中になっていました。

何かを信じて無我夢中になれる子どもたちの姿を、「無我夢中」でやることを、ちょっと忘れかけていた大人の私たちは、羨ましくもあり、見習いたいと思ったりました。大きなことでなく、日々の生活の中で、一日一つだけでも、子どものように、何かに夢中になりたいですね。

余談ですが、聖書の様々な場面が描かれる西洋絵画では、「魚」が描き込まれることが、多いのです。そして、もし「鍵」を持った人物が描かれていたら、それこそが「ペトロ」で、その鍵こそが「天国の鍵」なのです。そんな風に、ご覧になってみて下さい。

紹介本

にんじん（福音館書店）作・絵：せなけいこ
やさいのおなか（福音館書店）作・絵：きうちかつ
やさいのせなか（福音館書店）作・絵：きうちかつ
おやおや、おやさい（福音館書店）作：石津ちひろ／絵：山村浩二
やさい だいすき（こぐま社）作・絵：柳原良平
やさいいろいろかくれんぼ（ポプラ社）作・絵：いしかわこうじ
いろいろじゃがいも（くもん出版）作・絵：山岡ひかる
やさいたちのうた（福音館書店）作：藤富保男／絵：谷口広樹
いっぱい やさいさん（至光社）作：まど・みちお／絵：斉藤恭久
やさいさん（学研）作・絵：ツペラツペラ

次回は11月18日(水)10:30~

クリスト・ロア修道会
TEL０４２（４６５）８６２０